



**CRANE THUNDERS
ONGAESHI**

群馬クレインサンダーズ
CRANE THUNDERS ONGAESHI
2021-22 シーズン年間活動報告



“CRANE THUNDERS ONGAESHI”について

“CRANE THUNDERS ONGAESHI”は、群馬クレインサンダーズが、地域への感謝の気持ちとして実施する社会的責任イニシアティブで、「オフコートの3P」をコンセプトに、サンダーズコミュニティが笑顔になれるよう、様々な社会貢献活動をリードします。

「オフコートの3P」アクション ~PLANET, PEOPLE AND PEACE~

◆PLANET

サンダーズは、世界で重要課題となっている地球環境・気候変動(危機)問題へ一丸となって取り組み、環境に配慮した事業運営に努め、またファンとともに地球環境に貢献するための活動を継続的に実施してまいります。

◆PEOPLE

サンダーズは、地域社会において、弱い立場、苦しい状況にある人々に支援の手を差し伸べ、人権・ダイバーシティ等に関する人的環境の改善に取り組みます。また、経済的・社会的に恵まれない境遇にある子どもたちや、苦しい状況にある人々に笑顔や希望を届け、より多くの方々が健康で豊かな生活を送ることができるようサポートします。

◆PEACE

サンダーズは、地域社会の人々が安心して暮らせるまちづくりに貢献します。また、防災・減災の意識向上のための活動に従事します。

CRANE
THUNDERS
ONGAESHI
の詳細はこちら



群馬クレインサンダーズは “CRANE THUNDERS ONGAESHI”を通じてSDGsに貢献しています

スポーツの力を活用した Planet, People, Peace の3つの分野における「オフコートの3P」アクションを通して、Bリーグ統合と同じ年に採択され、Bリーグ開幕の年に始動したSDGsの達成に貢献し、プロスポーツクラブとしての社会的責任を果たします。



※SDGsとは？

SDGsは、「Sustainable Development Goals(サステナブル・デベロップメント・ゴールズ)」の略称で、世界共通の目標として、健康や教育、経済成長、気候変動などに関する17の持続可能な開発目標と169のターゲットが設定されており、いずれも2030年までの達成を目指すものです。

代表メッセージ

2021-22シーズンに始動した“CRANE THUNDERS ONGAESHI”の活動には、多くのファンの皆様、地域の皆様、パートナー企業様のご支援をいただきました。

日頃より、熱いご声援でチームに力を与えてくださる方々に“恩返し”をしていきたいというチームの想いを込めスタートした本活動ですが、皆様のサポートをより実感する機会となりました。本当にありがとうございました。

来シーズンも、皆さまからの応援、ご支援ご協力にお返しすべく、試合での勝利を目指して、選手やコーチ、スタッフが一丸となり、全力で取り組んで参りますが、オフコートでの社会貢献活動にもより一層注力し、地域社会をよりよい未来に導くため、邁進してまいります。

群馬クレインサンダーズは、“CRANE THUNDERS ONGAESHI”の活動を通して、持続可能な社会の実現に貢献し、活動の輪を広げていくことで、プロクラブとしての社会的責任を果たします。来シーズンも、オンコートでも、オフコートでも、全力を尽くして参りますので、引き続きのご声援を何卒宜しくお願い致します。



群馬クレインサンダーズ
代表取締役社長 阿久澤 毅

国連「スポーツ気候行動枠組み」署名

世界のスポーツ界が一丸となって気候変動問題に取り組む枠組みで、FIBA(世界バスケットボール連盟)や、NBA(米プロバスケットボールリーグ)をはじめ、約300の著名スポーツ団体が署名。※2022年6月時点

群馬クレインサンダーズも2021年9月に署名、自社事業運営でのCO2排出量削減とファンへの啓発活動を含む5つの原則にコミットし、行動に移していくグローバルチームに参画しました。

◆国連「スポーツ気候行動枠組み」新基準へ署名

2022年5月には新基準へ署名、2030年までにCO2排出量半減、2040年CO2排出量正味ゼロにコミットしました。

また同時に、2050年カーボンニュートラル(CO2排出量正味ゼロ)を目指す世界的キャンペーン“Race to Zero(ゼロへのレース)”へも参加しました。今後、世界の他セクターとも足並みを揃えて気候変動対策に取り組めます。



活動内容 ～PLANET～

エコステーション運営

株式会社フジ様と協働し、ホームゲーム会場でのごみの分別、測定を実施。ホームゲームでの廃棄物削減を目指す。



「EARTH HOUR」へ参加

2022年3月、「世界中の人びとが同じ日、同じ時刻に消灯する」ことで地球温暖化防止と環境保全の意思を示す、世界最大の環境アクション「EARTH HOUR」への参加をファンに呼びかけ。



地域の緑を守る森林保全研修への参加

2021年9月、メインパートナーである株式会社オープンハウスグループ様の環境研修へ選手・スタッフが参加。パートナー企業の社員の皆さまと地域の森林整備を体験。



レモネードスタンドプロジェクト

ぐんま国際アカデミー様、株式会社オープンハウスグループ様、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社様と協力し、ホームゲームでレモネードを販売、売上金額を小児がん支援として寄付。

開催回数：9回

寄付総額：506,804円 / 本数換算約2,530本

◆斎藤佑樹氏が参加

12月11日のホームゲームでは、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社様からご縁をいただき、2021年まで北海道日本ハムファイターズに所属、太田市出身でもある斎藤佑樹氏がレモネードスタンドプロジェクトに参加、学生を激励。



◆マイケル・パーカー選手、五十嵐圭選手が参加

4月23日のホームゲームでは、パーカー選手と五十嵐選手がシーズンを通して活動を続けてくれた学生と一緒にレモネードの販売に協力。



女性活動推進プロジェクト「ONGAESHI WOMEN」

2022年3月の国際女性デーを機に始動。太田市を中心とした群馬県の女性を応援するため、様々な女性活躍のための活動を実施するプロジェクト。

女性の活躍が難しいといわれるスポーツビジネス界において、スタッフの半分以上が女性で、まさに女性が活躍して事業運営を行っている群馬クレインサンダーズが、地域の女性たちに勇気や元気を与えられたらという思いから始動。今後太田市内の施設などを訪問し、社会貢献活動を実施予定。

◆ONGAESHI WOMEN AWARDS 2022

女性が活躍する企業である尾島デンタルクリニック様のご支援ご協力のもと、4月6日のホームゲームにて地域で活躍する女性3名へ感謝状を贈呈。これまでの功績と今後の更なる活躍にパートナー、ファン、チームより感謝を込めて花束と拍手を送った。



GUNMA CRANE THUNDERS
ONGAESHI WOMEN



太田市内学校訪問

市内の小中学校・高校を複数訪問。選手が校門に立ち挨拶運動や、バスケットボール教室を実施。コロナ禍において運動不足が懸念される生徒の皆さんにバスケットボールを通じた運動機会を提供。



選手によるオンライン対話プログラム

太田市内の小・中・高校生と選手がオンラインで対話。夢を実現した選手との交流を通し「夢」をもつことの大切さを考える機会と勇気を提供。



車いすバスケットボールチームとの交流

群馬県の車いすバスケットボールチームへ、バスケットボールやドリンクを寄贈。



オレンジリボン運動

11月の児童虐待防止推進月間に、地域社会全体で子どもたちを虐待から守るため、SNSで呼びかけるとともに、ホームゲームでオレンジリボンを着用しファンへ啓発。



フードドライブ

家庭や職場等で「まだ食べられるのに余っている食品」など、やむなく破棄されてしまう食品を、支援を必要としている方々(ひとり親家庭やその子どもたち、求職中の方)などの支援に活用する活動。多くの皆様にご協力をいただき、約140個の食材が集まり、フードバンクおおた様を通じて支援が必要な人々のもとに届けた。



活動内容 ～PEACE～

「群馬県警察交通安全広報大使」としての啓発活動

群馬クレインサンダーズが、群馬県警より「群馬県警察交通安全広報大使」の委嘱を受け、地域での交通安全啓発活動を推進。



◆ポスター制作による啓発

歩行者に対し、「横断時における横断歩道の利用」と手を上げて自身の存在や横断する意思をドライバーに知らせるための「ハンドアップ」、また、ドライバーに「横断歩道は歩行者優先」を呼びかけるポスターを制作。

◆反射材をグッズ販売

車のライトが反射した際に、その光を利用してドライバーから視認性を高めることができるリストバンド型の反射材を制作。Bリーグの試合が夕方から夜間にかけて行われることが多いことから「来場者が交通事故に遭わないように」という想いを込め、ファンへ啓発。



活動内容 ～Planet・People・Peace～

「キモチと。」 古本回収プロジェクト

ブックオフ様が運営される「キモチと。」プロジェクトへ参加。不要になった本・CD・DVD・ゲームの回収をホームゲーム会場等で行い、回収された物品はブックオフ様が査定し、その買取金額のすべてがONGAESHIのSDGs・社会的責任活動に活用予定。



協力・連携機関一覧

CRENE THUNDERS ONGAESHIの活動は、地域社会のさまざまな企業・団体様のご支援・ご協力により実施しております

【行政機関】

- ・ 群馬県太田市
- ・ 群馬県警察
- ・ 群馬県警察太田署

【NPO・福祉法人・地域団体】

- ・ フードバンクおおた
- ・ 三晃福祉会
- ・ 東毛経済同友会
- ・ レモネードスタンド普及協会
- ・ 日本小児がん研究グループ

【教育機関】

- ・ ぐんま国際アカデミー
- ・ 太田市内小学校
- ・ 太田市内中学校
- ・ 太田市内高等学校

【パートナー企業】

- ・ 株式会社オープンハウスグループ
- ・ 株式会社フジ
- ・ ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- ・ 株式会社SUBARU
- ・ 地域鉄道会社
- ・ イオンモール太田
- ・ 尾島デンタルクリニック
- ・ ブックオフ株式会社

※順不同、敬称略

ご支援・ご協力
ありがとうございました。



主なメディア露出実績

【レモネードスタンド】

THE ANSWER

<https://the-ans.jp/column/204133/>

<https://the-ans.jp/column/204369/>

<https://the-ans.jp/news/206549/>

<https://the-ans.jp/column/213822/>

上毛新聞

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/40120>

群馬テレビ

<https://youtu.be/cqsQQx13MnA>

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/125788>

朝日新聞デジタル

<https://www.asahi.com/articles/ASPDC6VDCPDCUHNB001.html>

NHK前橋放送局

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/maebashi/20220606/1060012091.html>



【群馬県警察交通安全広報大使】

日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC2479E0U1A121C2000000/>

上毛新聞

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/32271>

【交通安全啓発活動】

上毛新聞

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/47489>

【「キモチと。」古本回収プロジェクト】

exciteニュース

https://www.excite.co.jp/news/article/Atpress_307582/

上毛新聞

<https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/105903>

終わりに

“CRANE THUNDERS ONGAESHI”の活動は、
ファンの皆さま、そして地域社会の企業・団体様のご支
援ご協力により実施しております。

来シーズンも、啓発強化月間や地域の社会課題に対応
し、様々な活動を実施予定です。

引き続きご協力宜しくお願い致します！

